

# 水島港港湾計画（改訂）

## 1 水島港への要請

水島港は、岡山県中西部の高梁川河口に位置し、昭和35年に重要港湾に指定され、平成15年に特定重要港湾に昇格し、鉄鋼、石油精製、石油化学、自動車などの多様な産業が立地する我が国屈指の水島臨海工業地帯の玄関口であり、西日本一位の港湾取扱貨物量を誇る我が国有数の工業港として、地域の経済、産業に大きな役割を果たしている。また、現在玉島地区の沖に造成を進めている人工島（愛称「玉島ハーバーアイランド」）は、公共埠頭の供用開始以降、外貿コンテナ貨物の取扱いを中心とした水島港の新たな物流拠点としての役割を担うとともに、製造業、リサイクル企業等の企業進出が進展しており、地域経済の活性化に寄与している。

一方、近年の東アジアを中心とした国際水平分業の進展や中国の台頭などを背景に、水島臨海工業地帯においても、さらなる国際競争力の向上が求められている。また、平成7年の国際定期コンテナ航路の就航以降の外貿コンテナ貨物の増加、国内生産拠点の新規立地企業の増加、環境志向の高まり等、水島港を取り巻く情勢は、大きく変化している。

これらを踏まえ水島港では、外貿埠頭の整備や「水島港国際物流・産業特区」の認定による、公共埠頭の民間への貸し付けなどの施策により、物流機能の強化が図られている。

しかし、今後のさらなる貨物量の増加や船舶の大型化、荷役の効率化などへの対応が、背後産業の国際競争力の向上には必要不可欠である。また、既存施設の老朽化や取扱貨物の港内での分散等から利用効率の低下が発生しており、既存施設の再編による物流機能の効率化を図る必要がある。

水島港と水島臨海工業地帯をはじめとする背後地域との結びつきは非常に強いが、臨港交通施設が不足しており、港湾と背後地域を結び、増大する港湾貨物の円滑な流動を確保するための臨港交通ネットワークの拡充が求められている。

さらに、臨海部への企業の進出意向、地域産業の発展に寄与する土地利用を推進するとともに、市民のための憩いやうるおい、交流の場となるような親水空間の確保が求められている。

また、岡山県は切迫性の高い東南海地震や南海地震などの大規模地震発生に対する防災対策推進地域に指定されており、地震発生時において地域住民の緊急物資等を輸送するため、防災機能を有した港湾空間の早期整備を図る必要がある。

## 2 計画の基本方針

水島臨海工業地帯をはじめとする背後圏に立地する基幹産業の国際競争力を支える拠点的産業港湾、アジアを中心とした世界各国との製品・半製品の交易を支える拠点的国際港湾としての水島港の機能強化を図るとともに、物流・交流・環境・安全の4つの機能が融合した活力あるみなとを実現し、「新しい姿の臨海産業と内陸産業の競争力強化に寄与するみなと」を目指すため、平成20年代後半を目標年次として、以下の方針を定め、港湾計画を改訂する。

### 【物流】

- ・コンテナ貨物等の取扱機能の強化
- ・完成自動車の取扱機能の強化
- ・臨港交通体系の強化

### 【交流・環境】

- ・環境産業の立地空間の形成

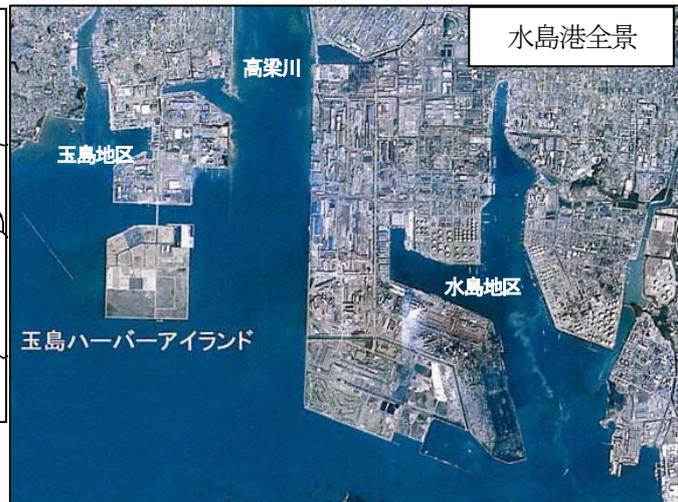
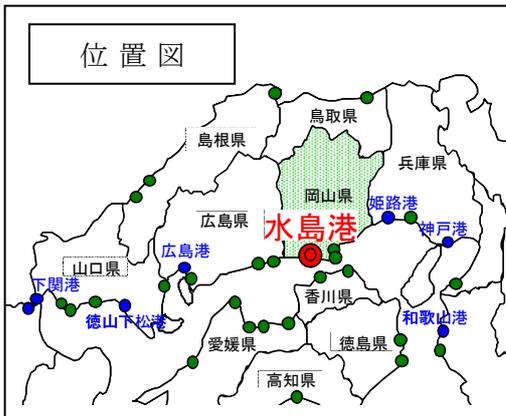
### 【安全】

- ・大規模地震対策施設の整備

港湾管理者連絡先：岡山県土木部港湾課

井元、和田（TEL：086-226-7485 FAX：086-227-5551）

### 3 水島港の位置



### 4 主な計画内容

【物流1】コンテナ貨物等取扱機能の強化

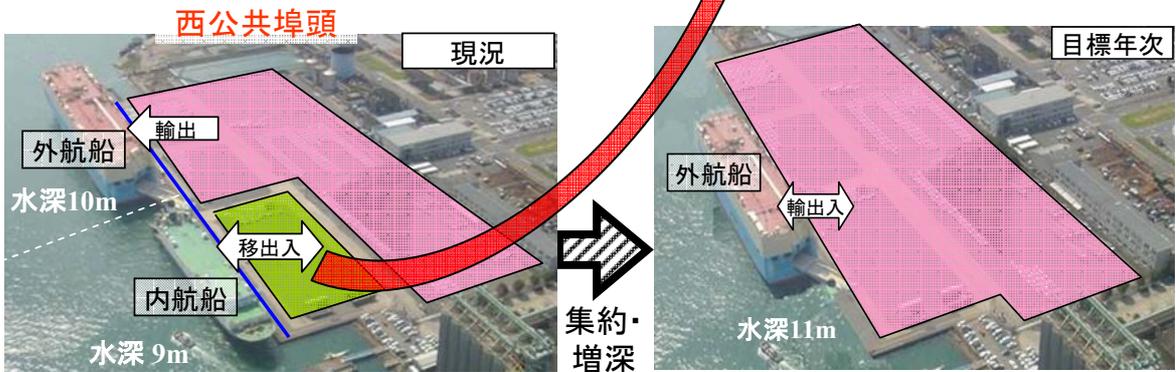
- ・玉島ハーバーアイランドにおいて、急増する外貿コンテナ貨物の集約を図り、また、大型飼料運搬船の入港に対応するため、(-12m)岸壁を既定計画どおり計画する。



### 【物流2】完成自動車取扱機能の強化

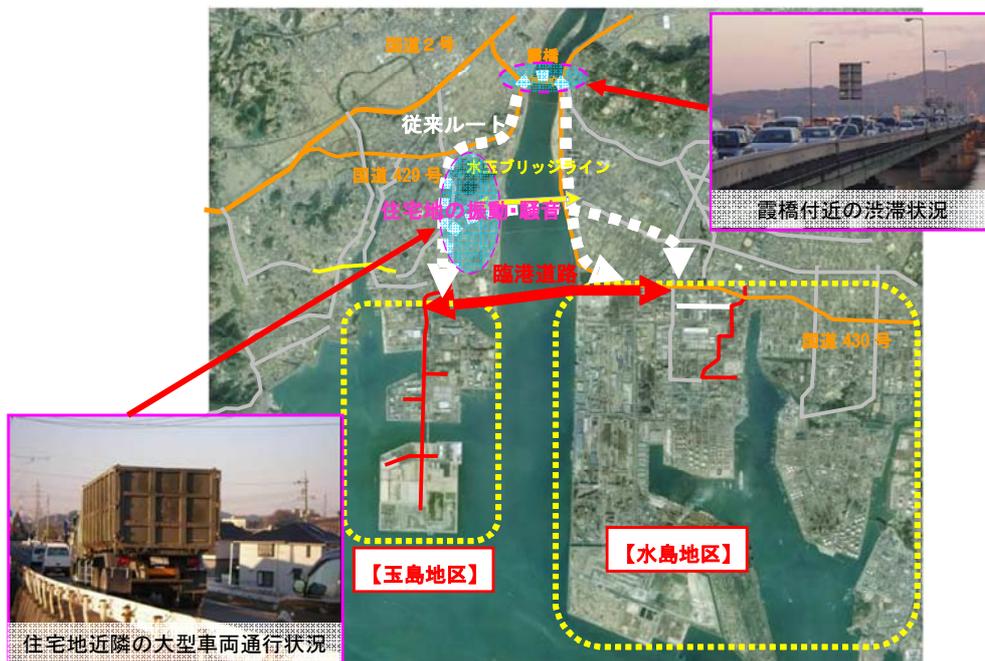
- 水島地区の西埠頭公共岸壁（-10m）1バース、（-9m）1バースの老朽化対策と併せ、大型の自動車運搬船の入港に対応するため、岸壁を集約・増深し、（-11m）岸壁1バースを計画する。現在内貿完成自動車と混在している取扱いを外貿完成自動車の取扱いに特化し、内貿完成自動車の取扱いは、玉島埠頭にて行い、輸送効率の改善を図る。

#### 位置図



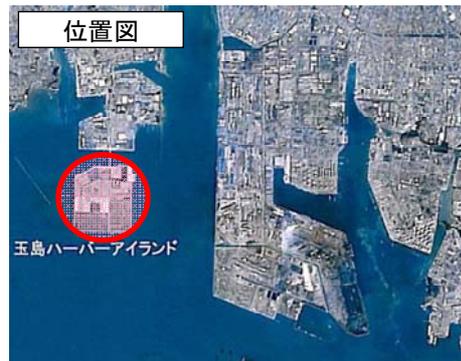
### 【物流3】臨港交通体系の強化

- 物流拠点の玉島地区と生産拠点の水島地区とを結ぶ臨港道路を計画し、港内の物流効率化並びに周辺環境の改善を図る。



【交流・環境】環境産業の立地空間の形成

- 玉島ハーバーアイランドにおいては、近年の環境志向の高まりなどの社会情勢を背景に、循環型資源産業を誘致しており、緑地・海浜を確保しつつ、企業の需要に応じた面積を極力まとまった区画で確保し、効率的な利用を図ることができるような土地利用を計画する。



【安全】大規模地震対策施設の整備

- 水島港内のバランスに配慮し、既定計画の玉島地区の岸壁(-12m)1 バースに加えて、新たに耐震強化岸壁 (-11m) 1バースを水島地区に計画する。さらに、新たに計画する臨港道路等でこれらを結びつけることにより、有機的で強力なライフラインの確保を図る。



